

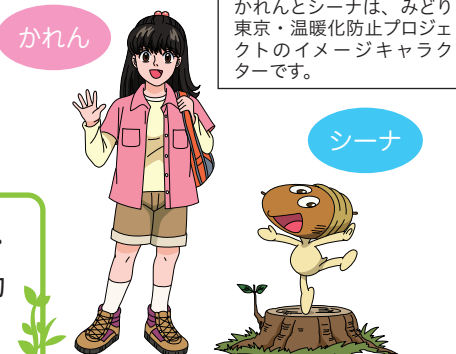


オール東京62市区町村共同事業

## みどり東京・温暖化防止プロジェクト

### 市町村の取組紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。



かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん

シーナ

## 1 国立市 くにたち花と緑のまちづくり事業

国立市では毎年2回、市のシンボルである大学通りの緑地帯や市内公園で、大規模な花植えを実施しています。特に大学通りの花植えでは、市民ボランティアが計画から実作業に至るまで、活動の中心となって取り組んでいます。花で彩られた街の姿に感動し、様々な調整の苦勞を乗り越え、花と緑による市民協働の輪が広がっていくことに大きな手応えを感じています。

今後も自然と人、人と人との絆がより深まるよう、本事業を推進していきます。

【問合せ先】 国立市 生活環境部 環境政策課 TEL 042-576-2111



## 2 福生市 花いっぱい運動

福生市では1990年度から年2回、春と秋に多くの市民が楽しめるよう、街角、通学路、公園、広場等に、町会・自治会等の市民や農業者を中心とするボランティアによるペチュニア、パンジー等草花の苗の植栽を行い、緑化と美化を進めています。

今年度は、市内に設置したプランター110基の土の改良を行いました。また、人と人との間隔をあけるなど新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した上で植栽を実施しました。

今後も本事業を通じて、市内の緑化と美化を推進していきます。

【問合せ先】 福生市 生活環境部 環境課 TEL 042-551-1718



## 3 神津島村 神津島村緑化推進事業

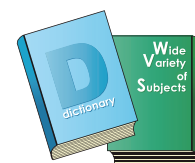
神津島村では緑化推進事業として、道路脇や観光地の一角を花壇として活用し、四季折々の花を植えています。

神津島に自生する植物や雄大な景観に囲まれるこのスペースに四季折々の花を植えることで、豊かな自然との一体感を創出し、景勝地としての魅力が何倍にも引き立てられます。訪れる観光客や村民に、神津島の自然の癒しを実感してもらえるような心地良い可愛らしい空間となりました。

【問合せ先】 神津島村 産業観光課 TEL 04992-8-0011



## 多摩交流センターだより



特定非営利活動法人

## 東京雑学大学

※受講の際は、必ずマスク着用のこと!

2021年8月講義案内

(受講料: 会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日時	講義テーマ	教授	教場
8月5日(木) 14:00から	アナグラムの不思議	笹 公人 氏 (歌人・大正大学客員准教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
8月12日(木) 14:00から	コロナ後の世界情勢	加藤 朗 氏 (桜美林大学教授)	小金井市市民会館「萌え木ホール」 (JR武蔵小金井駅南口 徒歩7分 小金井商工会館3F)
8月22日(日) 14:00から	衣料のトラブルと手入れ -失敗しないために-	工藤 千草 氏 (元日本女子大学通信教育課程特任教授)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
8月29日(日) 14:00から	太平洋諸国の現状 -気候変動と中国に翻弄される島嶼国-	中西 武美 氏 (元ジェトロ職員・元太平洋学会会員)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

【問合せ先】 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、8月講義を中止させていただく場合があります。詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

### 「多摩交流センターだより」の問合せ先

#### (公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

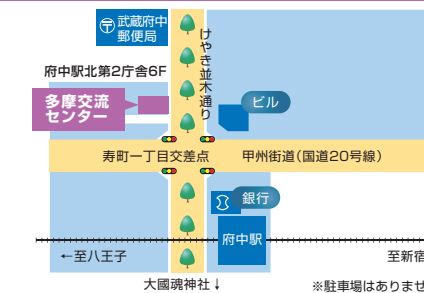
〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



## 編集後記

- 令和3年の夏を迎えます。  
ぐるり39は、7月号から9月号の夏季の期間には「表紙」と裏面の「とっておき歴史発見」で、東京の島しょ町村を紹介しており、今月号は利島村の美しい景色や島の歴史が紙面を飾ります。  
夏は、島の魅力を堪能できる季節です。今季は微妙な状況ではありますが、コロナ禍が落ち着いた際には、是非、東京の島々を訪れて、リフレッシュするとともに島の経済を応援したいと思います。
- さて、今年も半分が経過しました。  
年初から断続的に続くコロナウイルス対策で、社会も経済もすっかり疲弊して、多くの人々がいろいろな場面で困窮しています。
- コロナ対策の切り札であるワクチン接種については、接種率が高い世界の国々では、感染者数が減少していることが報じられており、今後、日本においても接種による集団免疫獲得の効果が期待されています。日本国内では、まず重症化リスクの高い高齢者への自治体接種が開始し、加えて5月下旬からは東京と大阪で国による大規模接種会場が設けられるなど、ピッチを上げて進みつつあります。しかし、集団免疫の効果が見えてくるのは約40%以上の高い接種率が必要で、まだ相当の時間を要すると伝えられています。  
また、ワクチンの接種を受けたからと言って全く感染しない訳

ではなく、感染を防ぐマスク着用や密の回避を心掛け、引き続き油断しないで行動するよう有識者は警鐘を鳴らしています。

○ 今少しの間、厳しく不透明な社会経済状況が続くことが予想されていますが、このような中にあっても一人ひとりが、社会が回復に向かうという希望を持ち続け、正しい気づきを心得て行動することが社会全体を好転させていくために大切なことだと考えます。正しい気づきとは科学的根拠に基づいた合理的な行動ができるよう心掛けることにほかなりません。度重なる緊急事態宣言の発出で、非常事態に疲れ果て、政策や科学に反感を持ってしまいがちな状況ですが、コロナ疲れや慣れによる感染リスクの高い行動をとることは、自らや社会全体にとって利益になりません。また、リスクの高い行動をとる人を糾弾したり、責めることを止め、感染対策の必要性に自ら気づくよう促す働きかけを行い、意識を高めていくことが最も有益です。

○ 元来、日本人は個々人が高い倫理を持つといわれており、諸外国のように法律で厳しく律しなくても他人に迷惑をかけないという文化があります。  
この夏も、誰にも迷惑をかけず、早く島へ旅行ができるように、しばしの辛抱を自らに戒めつつ、リスクの低い方法でリフレッシュしたいと思います! (M.N)